『浸水ナビ』による最大浸水深等の確認方法

「浸水ナビ」は、国土交通省が公開するウェブサイトです。河川が氾濫した場合 に、浸水が想定される区域や指定した位置(地点)で想定される浸水深等を確認す ることができます。

①インターネットで「浸水ナビ」を検索します。



②上記①画面の「浸水シミュレーションを確認する」をクリックします。



③ <>> 画面で、「規模指定」が
「想定最大規模」になってい
ることを確認します。

④ ● 画面で、「地点から」の
タブを選択します。2ページの画面が表示されます。

⑤「地名、住所、座標検索」に検索したい土地の住所「磐田市加茂619-1(参考例・ 豊田加茂グラウンド)」を入力し、入力欄右端の「 🔍 」をクリック(検索)します。 (推奨)



【別の検索方法】

上記の画面(日本全図)を拡大した上、画面上で確認したい位置にポインターを合わせ、ダブルクリックすることにより、位置を指定することもできます。

⑥検索した住所(×印の地点)が、画面上で正しい位置に表示されているか、拡大した画面で確認します。

※下図では、「×印」と「(中心を示す)+印」が重なって表示されています。





◆上記の×印周辺を拡大した画面

※「参考例(豊田加茂グラウンド)」の位置に、 ×印が表示されています。 ⑦3ページの上の画面で「浸水深が最大の破堤点」というメッセージの付いた「●」
をクリックします。下の画面が表示されます。
※下図のとおり、画面上の「●」が「×」に変わります。



※上図の「着色の範囲」は、●(上図の×)の地点が破堤した場合に浸水の影響があると想定される地域になります。十印は画面の中心を示しています。

【注 意】

・想定破堤点「●・●」は、一定規模の降雨により、河川堤防が決壊(破堤)した場合に氾濫するおそれがあるとして、浸水シミュレーション上で設定された点です。実際に想定破堤点で破堤するとは限りません。

・浸水深が最大の破堤点である「●」を、必ず、クリックしてください。

・「●」が2箇所表示される場合があります。どちらを選択しても、5ページの「最大 浸水深」は同じ数値が表示されることを確認していますが、万が一、違う数値が表示 される場合は、市都市計画課(℡0538-37-4907)にご連絡をお願いします。 ⑧画面を最大に拡大し、対象地の前面道路をクリックします。
※クリックした位置に「赤いピン(目印)◆」が表示されます。
※右の人型シルエットの凡例の中に、「◆」の位置の「最大浸水深O.OOm」が表示されます。





・優良田園住宅の建設を計画する場合、計画敷地そのものではなく、敷地の前面道路の最大浸水深をご確認ください。

・同じ道路上であっても、確認したい
位置◆によって、最大浸水深が変わりますので、最も深い(厳しい)数値を採用してください。

【注 意】

優良田園住宅の建設を計画する土地(場所)が、磐田原台地上に位置するなど「浸水が想定されていない区域」内の場合、「浸水ナビ」で想定浸水深(最大浸水深)を確認することができません。

例えば、検索画面の「地名、住所、座標検索」の欄に、「大藤交流センター」の住所 「磐田市大久保 279-2」を入力します。



検索した結果、下記のメッセージが表示されます。



このメッセージが表示される区域内の土地は、「浸水が想定されていない区域」= 「想定浸水深 Om」となります。優良田園住宅建設計画の認定申請にあたり、浸水ナ ビの画面コピー等の「想定浸水深が分かる書類」は不要とします。